

周南市立桜田中学校 平成27年度 学校要覧

〒745-1131 周南市大字戸田2960番地

TEL 0834-83-2007 FAX 0834-83-2190



グランド
デザイン

山口県教育委員会 未来を拓く たくましい 「やまぐちっ子」の育成

周南市教育委員会 信頼と期待にこたえ、夢をかなえる学校づくり

学校教育目標 人間性豊かで 確かな学力を身につけ 心身ともにたくましい生徒の育成

重点目標

地域と力をあわせて教育活動を展開し、生徒に広い視野と高い志をもたせる。また、将来地域の外で様々な環境に置かれても、ひけをとらない実力と自らがぶれないたくましさをも身につけさせる。その中で地域の活性化にも貢献していきたい。このことの具現化を目指して下記3項目を本年度の重点目標とする。

- ①学力向上
- ②生徒の主体的な活動の推進
- ③コミュニティ・スクールの充実

(校区内3地区の同程度の参画を進め、地域協育ネットの基礎づくりを目指す)

桜田中学校区4校合同学校運営協議会

(地域協育ネット)

やさしく、かしこく、たくましく
～仲間や人を大切にし、志をもって自分で考える子～

桜田中学校

△ キャリア教育の軸

中学校教育活動
生徒会活動
総合的な学習

中学校
コミュニティ・
スクール

小中連携

西部3地区

夜市小学校

戸田小学校

湯野小学校

桜田幼稚園

3公民館

4校合同協議会行動計画

- あいさつ運動
- 地域の大先輩に学ぶ
- 道の駅「ソレーネ周南」のイベントへの小中学生の主体的な参加



- 学校教育の充実
- 地域の活性化



周南市教育委員会
モデル中学校区指定

本校の概要

本校の校区は、周南市の西端に位置し、市街地から離れたのどかな田園風景を残す湯野・戸田・夜市の三地区から成っている。周南工業地帯に隣接し、近年そのベッドタウンとして新しい住宅団地が増えてきているものの、生徒数は年々減少の傾向にある。

他の地域に比べ三世帯家庭が多く、家庭や地域において生徒が一人になることは少ない。また保護者の教育に対する熱意は強く、学校行事・奉仕作業などには数多くの参加があり、非常に好意的かつ協力的である。更に、地域コミュニティー活動も活発で、職業講話など学校教育に対して協力を惜しまない。

本校の沿革 (年度別)

昭和22 徳山市立第七中学校開校 本校(戸田)分校(湯野)
 昭和25 湯野分校廃止 新校舎落成
 昭和31 徳山市立桜田中学校と改称
 昭和36 校歌制定(磯永充能作詩 小林幹夫作曲)
 昭和38 校旗制定
 昭和39 体育館兼講堂竣工
 昭和44 桜田中・戸田小共用プール竣工 部活後援会発足
 昭和46 生徒会による独居老人宅・老人ホームの慰問開始
 昭和48 交通安全教育研究発表会(県教委指定)
 昭和50 健康優良校(山口県教育長表彰)
 昭和53 全国学校体育優秀校(文部省表彰)
 昭和55 新校舎竣工 校訓碑「敬愛」除幕
 昭和57 学校給食優良校(山口県教育長表彰)
 昭和58 福祉教育研究指定校(徳山市)社会福祉協議会より表彰
 校訓碑「奉仕」除幕
 昭和59 校舎増築 夜市地区生徒全員通学開始
 昭和62 勤労生産学習研究発表会(文部省指定)
 昭和63 柔道部中学校選手権全国大会出場
 平成3 柔道部・剣道(個人)全国中学校選手権大会出場
 平成4 走り高跳び中国大会出場
 平成5 1500m中国・全国大会出場
 平成6 女子バスケットボール部中国大会第3位
 3000m 全国大会出場
 平成8 全国学校合奏コンクール県大会金賞受賞
 徳山市駅伝競走大会4連覇達成
 平成9 走り高跳び中国大会出場
 徳山市駅伝競走大会女子優勝(大会新)
 韓国馬山市短縮マラソン大会出場 第1位
 徳山市中学校陸上競技大会Bブロック男女優勝
 韓国馬山市マラソン大会出場 第1位
 平成10 韓国馬山市マラソン大会出場 第1位
 平成11 柔道部全国大会出場
 平成12 韓国馬山市マラソン大会出場 第1位
 平成13 走り高跳び中国大会出場
 平成14 市町合併により周南市立桜田中学校と改称
 平成15 パソコン室にエアコン設置
 平成17 陸上部、ボランティア部新設
 100m1年中国大会出場
 パソコン新機種に変更
 校訓碑「克己」除幕
 平成20 校長室、職員室にエアコン設置
 国民文化祭いばらぎ2008短歌大会学校奨励賞
 平成21 100m1年・3年中国大会出場
 公務用PC設置
 第55回山口県読書感想文コンクール優秀校賞
 中国大会出場 女子1年800 2名 共通男子800m 2年男子1500m
 男子走高跳 2年男子100m
 ジュニアオリンピック出場 女子1年800m 男子2年走幅跳
 平成23 中国大会出場 男子3年100m 2,3年女子800m 共通男子200m
 共通男子走高跳 3年男子1500m
 ジュニアオリンピック出場 男子200m 男子3000m 共通男子走高跳
 4×100mリレー(県選抜) 女子1500m
 平成24 周南市教育委員会指定コミュニティー・スクールとなる
 屋内運動場改築工事(7月～)
 中国大会出場 女子1500m 2年男子1500m 2年男子100m
 第31回全国都道府県対抗女子駅伝競走大会出場
 全国大会出場 女子1500m 800m
 平成25 中国大会出場 男子800m 1年男子1500m
 全国大会出場 男子800m
 屋内運動場竣工
 第19回全国都道府県対抗男子駅伝競走大会出場
 平成26 中国大会出場 2年男子1500m 1年男子1500m

校 訓

- ・敬愛 奉仕豊かな情操をもち、思いやりのある生徒
- ・克己 高い目標に向かって、常に挑戦する生徒
- ・奉仕 勤労を尊び、社会に奉仕する生徒

	三	二	一	
校歌	ああ栄えあれ桜田中学校	正義の旗をかざして進まん	永久に湧く夢湧くところ	励みの鐘の鳴るところ
作詞	ああ栄えあれ桜田中学校	正義の旗をかざして進まん	永久に湧く夢湧くところ	励みの鐘の鳴るところ
作曲	ああ栄えあれ桜田中学校	正義の旗をかざして進まん	永久に湧く夢湧くところ	励みの鐘の鳴るところ
磯永充能	ああ栄えあれ桜田中学校	正義の旗をかざして進まん	永久に湧く夢湧くところ	励みの鐘の鳴るところ
小林幹夫	ああ栄えあれ桜田中学校	正義の旗をかざして進まん	永久に湧く夢湧くところ	励みの鐘の鳴るところ
大平山の峰高く	行く夜市川の水清し	昇仙峰を望みつつ	丘にいそむ若人の	瞳に胸にあふれる希望

桜田中学校ホームページ

<http://www.shunan.ed.jp/sakuradachu/>



生徒数・学級数

(4月8日現在)

	男子	女子	計	学級数
第1学年	28	24	52	2
第2学年	28	26	54	3
第3学年	29	27	56	3
計	85	77	162	8

教育課程

区分	第1学年	第2学年	第3学年	
必修教科	国語	140	140	105
	社会	105	105	140
	数学	140	105	140
	理科	105	140	140
	音楽	45	35	35
	美術	45	35	35
	保健体育	105	105	105
	技術家庭	70	70	35
英語	140	140	140	
道徳	35	35	35	
特別活動	35	35	35	
総合的な学習	50	70	70	
総授業数	1015	1015	1015	

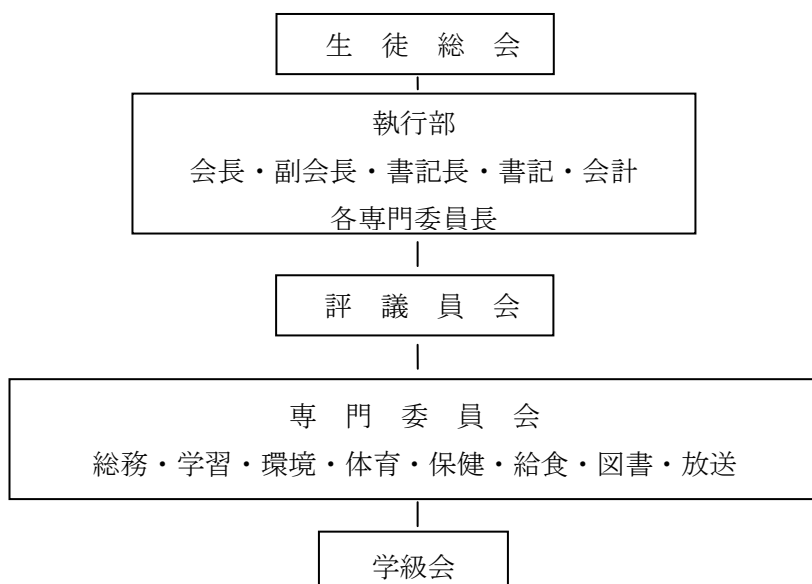
部活動

部活動名	人数
軟式野球	
男子バレーボール	
女子バレーボール	
バスケットボール(女)	
ソフトテニス(女)	
陸上競技(男・女)	
美術	

※4月27日 新入生正式入部

生徒会

生徒会の諸活動を通して、生徒が自らの学校生活の改善と向上のための問題を見だし、実践を通して望ましい活動のあり方を考える。また、生徒の主体的な活動を推進するための基盤とする。



27年度生徒会チャレンジ目標 Sakurada 3つの"S"

Smile

笑顔あふれる桜田中

Soul

学校行事に魂を込める桜田中

Sing

心をひとつに校歌が
歌える桜田中

校内研修テーマ

連携を基軸としたキャリア教育の推進
～ 確かな学力を育み、自己表現できる生徒の育成 ～

職員組織

職名	氏 名	担 任	教 科	校 務 分 掌 ・ 部 活 動
校長	〇〇 〇〇		(数学)	
教頭	〇〇 〇〇		国語・美術	総務・小中連携教育
教諭	〇〇 〇〇	学年主任 1-1	理 科	キャリア教育・総合的な学習・ICT・女子バレーボール部
〃	〇〇 〇〇	1-2	国 語	教科書・図書館・軟式野球部
〃	〇〇 〇〇	1-副	保 体	生徒指導主任・学校安全・交通安全・防火防災・中体連・部活動・陸上競技部
〃	〇〇 〇〇	1-副	英 語	人権教育・美術部
〃	〇〇 〇〇	2-1	音楽・家庭	教育相談・中文連・女子バスケットボール部
〃	〇〇 〇〇	学年主任 2-2	理 科	特別支援教育(コーディネーター)・施設環境・少人数教育・男子バレーボール部
〃	〇〇 〇〇	桜2組	(家庭)	給食指導・陸上競技部
〃	〇〇 〇〇	2-副	数 学	道徳教育・少人数教育・研修・生徒会・ソフトテニス部
〃	〇〇 〇〇	学年主任 3-1	数 学	特別活動・女子バスケットボール部
〃	〇〇 〇〇	3-2	数 学	少人数教育・生徒会・男子バレーボール部
〃	〇〇 〇〇	桜1組		特別支援教育・ソフトテニス部
〃	〇〇 〇〇	3-副	社会・技術	教務主任・野球部
養護	〇〇 〇〇	2-副		保健主任・性教育・食育・女子バレーボール部
事主	〇〇 〇〇			事務
非常勤 講師	〇〇 〇〇		社 会	

P T A 活動

《努力点》

- ・ 生徒の健全育成を目指した P T A 活動を推進するために、学校・家庭・地域の連携の強化に努める。
- ・ 会員相互の緊密な連携のもとに、ふれあいを深め、子供とともに高まり合う P T A 活動を目指す。
- ・ 父親が積極的に参加し、活動する P T A 活動を目指す。

